

令和元年度における森林環境譲与税を活用した事業【作業道の改良】

- 吾妻郡高山村は、森林の面積が、4,873haで村の総面積の76%を占めています。人工林面積は、3,057haと戦後の造林施策により65%と人工林率が高く今後の森林整備が急務で、森林環境譲与税を財源として、間伐等を推進する方針である。
- 令和元年度においては、次年度以降の搬出間伐の面積拡大につなげるため、通行不能となっていた森林作業道の改良工事を実施した。
 - ・計画的に経営管理・森林整備を実施するため、「新たな森林管理制度における高山村経営管理集積指針」を策定した。

□ 事業の内容

1 里山森林環境整備事業

- ・令和元年度里山森林環境整備事業（法楽寺作業道）改良工事

【事業費】 3,751千円（全額譲与税）残額18千円は、基金へ積立

【実績】 延長120m 全幅3.0m

2 新たな森林管理制度における高山村経営管理集積指針の策定

- ・村内の私有人工林を4ブロックに区分し、令和2年度～

令和14年度の13カ年計画で経営と管理を集積するとして指針を策定した。

- ・令和2年度から順次、地元説明会及び意向調査を実施する。

□ 事業スキーム

- 1 搬出間伐等の拡大のため作業道の改良工事の実施
- 2 意向調査の準備

□ 工夫・留意した点

- ・搬出間伐等の拡大のため、路盤が著しく軟弱な既設作業道の改良について、村、地元森林組合等の関係者で協議した。作業道管理者を明確に区分したうえで準幹線的な作業道の改良は森林環境譲与税を活用することとした。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額		3,769千円
②私有林人工林面積 ※1		1,615ha
③林野率 ※2		76%
④人口 ※3		3,674人
⑤林業就業者数 ※4		25人

※1「森林資源現況調査（林野庁 H29.3.31現在）より

※2「2015農林業センサス」より※3,4：「H27年国勢調査」より

作業道状況



森林整備状況

